

# 結婚成立までが仲人の仕事

## 業界の常識覆した「世話好き仲人」ネットワークが急成長したワケ

結婚を希望している独身者が苦戦している。「婚活ブーム」と言われて5年以上経つが、実は婚姻率や件数に回復傾向はみられないのだ。厚労省の統計によると、2008年は婚姻件数72万6106組、婚姻率5.8だったのが2012年には66万8869組(婚姻率5.3)まで落ちている。

そうした中、日本ならではの「仲人」が見直されてきているという。急成長を遂げている「日本仲人協会」理事長の中西圭司氏にその秘密を聞いた。

### 独身者に優しい料金制度に

「最近では『草食男子』なんて言いますが、日本人は元々シャイなんです。自ら行動して結婚まででき



着けるのは今も昔も2〜3割です。昔は、全国にいる世話好きなおっちゃん、おばちゃんが入って若い2人を引き合わせて背中を押していたんですよ」中西氏は周囲の「おせっかい」こそ未婚化を止める鍵だと強調する。1992年にスタートした「日本仲人協会」は、全国の世話好きな仲人を束ねて独自の婚活システムを展開するネットワークだ。2009年に全国規模に拡大してから急成長し、2005年に158人だった加盟仲人は2014年

1月には約11000人に。お見合い会員は約1万人に達した。それでも、会員の登録データを基に引き合わせる大手サービスと比べれば、会員数は約4分の1程度だが、成婚率は業界平均5%前後を大きく上回る10%以上の実績を持つ。

急成長の理由は、業界では珍しい上限付きの成功報酬型にある。「大手サービスは、2年契約で40万円、というように入会金や月会費をまとめてもらう『先払い型』がほとんど。けれど結婚前から大金を取るのをおかしいなと思う、利用者のハードルはもっと低くあるべきだと考えていました(中西氏)。加盟仲人には月会費の先取りを禁止し、入会金は3万円、月会費は1万円、成婚料は30万円と上限も定めている。会員にとっては初期投資の必要がないので、気軽に婚活を始めることができるのだ。

### 全国どこでも「おせっかい」仲人がいる日本に

同様に、仲人へのハードルも「加盟金、登録料0円」と異例の低さだ。同協会では毎月全国でセミナーを開催しており、参加したうえで加盟すれば50万円の加盟金は無料になる。加入時に必要なHPL利用料3万1500円と、月会費1万5000円だけで仲人ビジネスが始められるというわけだ。

こうした料金体制に挑戦した背景には、社会貢



仲人業への思いを語る、日本仲人協会理事長の中西圭司さん

献としての側面もあるという。「加盟仲人への負担を少なくすることで加盟数が増えれば、会員数も増え、お見合いの機会が増えて成婚率もアップします。未婚化が解消されれば、深刻な少子化問題の解決にもつながりますからね」と中西氏。

加盟に特別な資格はいらす、話すことや世話好きであれば、誰でも仲人になれるという。「加盟仲人は経験者ではなく、全員ゼロからスタートした人たちです。定年退職したお父さんやパート感覚で始める主婦の方、副業にするOLさんも多いですね。年齢も関係ないので、下は24歳から上は91歳と幅広いですよ」

現在、結婚相手紹介サービスの入会者は、適齢独身者1800万人に対し、60万人程度に過ぎない。中西氏は加盟仲人1万人、会員数10万人と大きな目標を掲げ、「結婚難民」を救えるような社会づくりを目指す。

日本仲人協会の詳細は  
<http://www.omiaiink.com/>

